

## ものづくり産業を支える仲間たち②③

自動車総連—  
カルソニックカンセイ  
株式会社厚木工場

今回は、新宿駅から小田急線急行に乗って約50分、本厚木駅で下車、駅前からタクシーで30分くらいの神奈川県内陸工業団地の一角にあるカルソニックカンセイ(株)の厚木工場を訪問した。元々、この内陸工業団地は、戦前は陸軍所管の軍事飛行場跡地とのこと。この工業団地には約100社あるがカルソニックカンセイ厚木工場が中でも一番古く、また敷地面積は約4万坪と最大である。同社は、「日本ラジエーター製造株式会社」(1938年創立)を源流とするカルソニック株式会社と「関東精器株式会社」(1956年創立)、後の株式会社カンセイが2000年に合併してできたグローバルな総合自動車部品メーカーである。主要製品は自動車部品のコックピットモジュール、フロントエンドモジュール、エキゾーストシステム、エアコンユニット、コンプレッサー、インストルメントパネル、メーター、電子部品、ラジエーター、コンデンサー、マフラー、コンバーターなどを製造している。

厚木工場は、1966年に開設された40年以上の歴史有る工場である。同工場は、アルミニウム製熱交換器の専門工場である。その中でラジエーターとはエンジンで発生する過剰な熱を放散するための装置であり、アルミ製のフィン(ひれ状の箔材)と細管を多数並べ、ろう付け接着した構造をしてい



アルミ製ラジエーターの製造工程

る。細管内部に冷却水を通し、同じく冷却水を満たしたエンジンのウォータージャケットと接続して冷却水を循環することにより、エンジンの冷却を行う。

特徴は、原材料であるアルミコイル材を、機械を使って加工して、素材から製品を作り上げていることだ。ラジエーターの素材から完成品までを一つの工場内で一貫製造しているのは国内5工場の中でも厚木工場だけである。アルミラジエーター

をはじめ、コンデンサー(放熱器)、N-U-C-R(ラジエーターとコンデンサーを一体化して新しいタイプの熱交換器)、オイルクーラー、インタークーラー(ターボチャージャー用の吸気を冷やす熱交換器)などを生産している。07年度の生産量は、ラジエーターが約120万台、オイルクーラーが約140万台、コンデンサー60万台である。

アルミ製ラジエーターは、ろう付け接着技術であるノコックブレイジング工法に加え、独自のアルミ加工技術と腐食防止技術で世界に先駆けて量産化に成功したものである。過去の銅ラジエーターに比べて『重量は約2分の1、厚さは2分の1。放熱効率は重量当たりで4.6倍、寿命は約3倍』という画期的な性能を誇っている。他の熱交換器製品も同様の技術を使っている。

今号のイラストでは、アルミコンデンサーの最終工程で製品チェックしているところを描いている。熟練の厳しい目が、光っていた。厚木工場では、現在、300名ほどの体制で動かしているが、見学して一人ひとりの熟練の方を中心とした品質へのこだわりの動きぶりを随所で目にした。こうした普段は目にみえないアルミ熱交換器の製造過程を通して、部

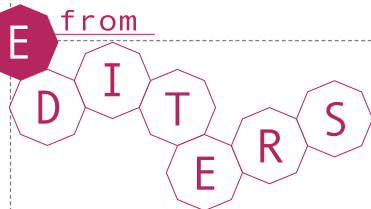
ラジエーターの一貫製造ラインを持つ厚木工場



品一つひとつの高性能化・軽量化へのあくなき品質向上への挑戦が、日本の自動車産業を世界トップクラスに押し上げてきたことを改めて実感した。(美)



アルミコンデンサーの最終の製品チェックをする熟練工



◆今号では、「最低賃金制度の動向と労働組合の取り組み」と題して特集を組んだ。産業別最低賃

金が大きな節目を迎えている現在、改めて、産業別最低賃金の意義について歴史的経過も含め検証した。また、産業別最低賃金への産別、地方、県における取り組み事例も紹介した。各産別・各県の産別最賃担当者の地道な執念の取り組みに感謝。

◆2009年は、世界も日本も、明るい話題がない中、開幕した。新聞には連日、ものづくり各社の業績見込み下方修正、人員削減等の記事が目につき、

心が痛む。隣人の古木屋の主人が、「何でもインターネット販売などにして、店舗を無くし、人がどんどん要らない世の中にして、一部の人間だけが儲けて一体どうするんだ。要は、1億2千万人の国民が、普通の生活が営めるように、仕事を作りだして、回して行くことこそが大事なんだよ」と。みんながWIN WINとなる明るい安心の社会を創るため、労働組合が今こそ力を発揮するときだと痛感。(美)

WINTER  
issue  
[冬号]